

## ・会務【法人事業/法人管理関係】

---

### ( 1 ) 2015 年度通常総会

2015 年度通常総会は 4 月 27 日に帝国ホテルで開催した。総会議長には定款に基づき、長谷川閑史 代表幹事が選任された。当日は、出席数 98 名、議決権行使者 68 名、委任状による議決権行使者 730 名の合計 896 名で、会員総数 1,392 名の過半数(697 名)以上となり通常総会は適法に成立した。議案と報告事項は次の通りであり、議案はすべて原案通り承認され、可決した。議事録署名人は定款に基づき、議長および当該通常総会の出席理事が行った。

第 1 号議案「2014 年度事業報告」	前原金一 副代表幹事・専務理事
「理事の業務監査報告」	本田勝彦 監査役
第 2 号議案「2014 年度収支決算」	松尾憲治 財務委員会委員長
「監査結果」	本田勝彦 監査役
第 3 号議案「2015 年度役員等選任」	桜井正光 役員等候補選考委員会委員長
第 4 号議案「会費規程の一部変更」	前原金一 副代表幹事・専務理事
報告事項【 1 】「2015 年度事業計画」	前原金一 副代表幹事・専務理事
報告事項【 2 】「2015 年度収支予算」	松尾憲治 財務委員会委員長

各議案の提案・報告要旨は以下の通り。

第 1 号議案「2014 年度事業報告」「理事の業務監査報告」については、前原専務理事より 2014 年度事業報告の説明の後、本田監査役により理事の業務監査について、理事の業務執行が適正に行われている旨報告された。

第 2 号議案「2014 年度収支決算」については、松尾財務委員長より説明の後、本田監査役より収支決算が適正である旨の監査結果が報告された。

第 3 号議案「2015 年度役員等選任」(2015 年 4 月 27 日任期満了役員)については、桜井役員等候補選考委員会委員長より役員等候補選考委員会選考結果に基づき提案が行われた。

理事のうち 2 期満了となる小林喜光については、3 期目の再任理事として総会で選任し、代表理事である代表幹事の候補者として理事会に推薦する旨を提案した。

理事 1 期満了となる伊東信一郎、菅田史朗、富山和彦、御立尚資の 4 名については、2 期目の再任理事として総会で選任し、業務執行理事である副代表幹事候補者として理事会に推薦する旨を提案した。

新任理事には、朝田照男、小林いずみ、隅修三、馬田一の 4 名を総会で選任し、業務執行理事である副代表幹事候補者として理事会に推薦することを提案した。また、新任理事として横尾敬介を選任し、代表理事である専務理事と副代表幹事を兼務する候補者として理事会に推薦する旨を提案した。

なお、理事のうち柏木斉、橘・フジ・咲江、藤森義明の3名の副代表幹事は2期満了をもって退任、岡本園衛は2期目任期中で理事辞任の申し出があり、副代表幹事を退任した。

2期満了となる理事で業務執行理事である常務理事の岡野貞彦については、3期目の再任理事として総会で選任し、業務執行理事である常務理事候補者として理事会に推薦する旨提案した。以上により、理事は任期中7名、再任6名、新任5名の計18名となる。なお、総会終了直後に開催した理事会では、総会で選任された全候補者が他の議案とともに原案通り承認された。

公益社団法人の法定上の監事である監査役については、本田勝彦が本総会終結時をもって任期満了により退任となる旨報告した。一方、新任監査役候補者として、濱口敏行を推薦、これにより監査役は、任期中4名、新任1名の合計5名となる旨提案した。

幹事は任期1期2年、定数200名以上270名以内と定めており、毎年度半数の幹事を改選している。2015年度の幹事選任については、役員等候補選考委員会が指名した幹事135名を選任し、昨年度任期中に辞任した幹事8名と任期中の幹事のうち新任理事候補者に選任された5名の欠員を補充するため、残任期間の1期1年の任期を引継ぐ1年幹事として13名を指名、これにより2015年度の幹事は合計270名となる旨提案した。

会計監査人については、現会計監査人である東陽監査法人の任期が本総会をもって満了となるが、引き続き本会の会計監査人として再任する旨を提案した。

終身幹事については、2期4年にわたり代表幹事を務めた長谷川閑史ならびに3期5年にわたり副代表幹事・専務理事を務めた前原金一を理事会に推薦する終身幹事候補者として提案した。

第4号議案「会費規程の一部変更」は、前原専務理事より、第7条(1)法人賛助会費は、本会に会員が在籍していない法人についても、本会の趣旨に賛同する場合、法人賛助会費を受領しているケースがあり、これを明文化すること、また、第7条(2)基本財産維持会費は、会員が所属法人を異動する場合を念頭に明文化することを提案した。次の第7条(3)および第7条2項では、個人寄附金について、本会の趣旨に賛同する非会員の方からも、公益目的事業又は基本財産への積立を指定した場合に受領できるように変更する旨提案した。

報告事項では、「2015年度事業計画」について前原専務理事より、「2015年度収支予算」について松尾財務委員長より、それぞれ説明があった。

以上により予定されていた議事をすべて終了した後、長谷川閑史 前・代表幹事からの退任挨拶、続いて小林喜光 理事より次期代表幹事候補として「持続可能な社会に向けて—Japan Version 2.0—」と題した代表幹事就任挨拶を行い、午後4時35分に閉会した。

## (2) 理事会

理事会は、本会の決議機関として、理事である代表幹事、副代表幹事、専務理事、ならびに常務理事により構成し、2015年度は2015年4月に2回、同年11月に1回、2016年3月に1回の合計4回開催した。

なお、理事会には、本会の業務および財産状況などを調査、監査する役割を担う法定上の監事である監査役も出席している。

理事会では、本会の役員等選任、通常総会で決議する事業報告書および計算書類等の事前承認、事業計画書、収支予算書等の承認などを行った。また、ガバナンス強化の観点から、理事の業務執行状況について4か月を超える間隔で2回以上理事会に報告することが法定上求められており、本年度は4月(第22回)、11月(第24回)に実施した。なお、各回の議案および報告事項は下記のとおりである。

### 第22回理事会 2015.4.10

- ・第1号議案「2014年度事業報告」
- ・第2号議案「2014年度決算」
- ・報告事項1「2014年度下期理事の業務執行状況報告について」

### 第23回理事会 2015.4.27

- ・第1号議案「代表理事(代表幹事、専務理事)の選任、  
業務執行理事(副代表幹事・常務理事)の選任」
- ・第2号議案「終身幹事の選任」
- ・第3号議案「常勤理事の役員報酬」
- ・第4号議案「会計監査人の報酬」
- ・第5号議案「理事が自己又は第三者のためにする本会との取引などについて」

### 第24回理事会 2015.11.2

- ・第1号議案「2015年度中間決算」
- ・第2号議案「会員からの個人寄附金の扱いとこれに伴う会費規程の変更」
- ・第3号議案「2016年度通常総会の日時及び場所」
- ・報告事項1「2015年度事業計画の一部変更」
- ・報告事項2「2015年度上期理事の業務執行状況報告」

### 第25回理事会 2016.3.22

- ・第1号議案「2016年度事業計画」

- ・第2号議案「2016年度収支予算」（2015年度決算見込みを含む）
- ・第3号議案「会費規程の一部変更」
- ・第4号議案「2015年度常務理事退職慰労金積立額」
- ・第5号議案「2016年度通常総会の招集と手続等」
- ・第6号議案「理事が自己又は第三者のためにする本会との取引等」
- ・報告事項1「2015年度事業計画の一部変更」

なお、監査役に対しては、4月、11月の2回、理事会前に、決算書類および理事の業務執行状況に関する報告を行い、確認いただいた。

### （3）幹事会

代表幹事、副代表幹事、専務理事、常務理事、そして幹事で構成される幹事会は、定款第48条に基づき、本会会務を審議するため毎月第三金曜日に開催した（4月は全国経済同友会セミナーが、7月は夏季セミナーが定例日に開催されたため、それぞれ4月20日、7月24日に開催し、8月は休会）。また、4月15日に臨時幹事会を開催した。

幹事会では、主に、入会者の選考・退会者の確認、役員等候補選考委員会の設置および結果等、本会運営に係る議案や提言・意見書・報告書等の審議を行った。また、6月には永宮直史 特定非営利活動法人日本セキュリティ監査協会 事務局長よりサイバー攻撃とその対策について、7月には五神真 東京大学 総長より「東京大学の目指すもの 知のプロフェッショナルの育成と知の協創世界拠点の形成」と題して、9月には甘利明 経済再生担当大臣 社会保障・税一体改革担当大臣 内閣府特命担当大臣（経済財政政策） TPP 担当大臣 健康・医療戦略担当大臣を招聘し今後の経済政策について、10月には鶴岡公二 内閣官房 TPP 政府対策本部 首席交渉官より TPP 協定交渉の結果と発効に向けた今後の道筋について、講演および意見交換を行った。各回の議題は以下の通りである。

#### 4月臨時幹事会 2015.4.15

- ・2014年度事業報告（案）について
- ・2014年度決算（案）について
- ・2014年度金融問題委員会 提言（案）について
- ・2014年度社会保障改革委員会 提言（案）について
- ・2014年度新しい働き方委員会 提言（案）について
- ・2014年度科学技術・イノベーション委員会 報告書（案）について
- ・2014年度欧州・ロシア委員会 報告書（案）について

4月幹事会 2015.4.20

- ・幹事の辞任について
- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・2014年度医療・福祉改革委員会 報告書(案)について
- ・2014年度国家戦略特区 PT 意見(案)について
- ・2014年度経済連携委員会 提言(案)について
- ・2014年度知日派・親日派拡大 PT 報告書(案)について

5月幹事会 2015.5.15

- ・新任役員紹介
- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・法人賛助会費について
- ・2014年度アフリカ委員会 ミッション報告書(案)について
- ・2014年度行政・制度改革委員会 報告書(案)について
- ・2015年度 幹事個別訪問の実施について
- ・2015年度の幹事会・幹事懇談会の日程について

6月幹事会 2015.6.19

- ・講演・意見交換：「サイバー攻撃とその対策」  
/ 永宮直史 特定非営利活動法人日本セキュリティ監査協会 事務局長
- ・幹事の辞任について
- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・留学生支援企業協力推進協会の活動について
- ・2014年度米州委員会 報告書(案)について
- ・景気定点観測アンケート調査結果について
- ・独立役員(社外取締役・社外監査役)・経営諮問委員等候補者の登録・紹介制度について
- ・東京経済研究センター(TCER)研究活動助成のお願い
- ・特定非営利活動法人ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワーク(NPO法人 J-Win) Next Stage の活動報告と今後の活動について

7月幹事会 2015.7.24

- ・講演：「東京大学の目指すもの 知のプロフェッショナルの育成と知の協創世界拠点の形成」  
/ 五神真 東京大学 総長

- ・幹事の辞任について
- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・役員等候補選考委員会の設置について
- ・2015年度夏季セミナーについて
- ・第41回日本・ASEAN経営者会議(AJBM)の開催について
- ・「日本・ASEAN経営者会議(AJBM)の40年」について
- ・労働者派遣法改正案の早期成立を求める経済3団体意見書について
- ・世界経済史会議(WEHC2015)への寄附金協力 御礼について
- ・一般社団法人 ジャパンダイバーシティネットワークの活動について

#### 9月幹事会 2015.9.18

- ・講演：「今後の経済政策について」  
     / 甘利明 経済再生担当大臣 社会保障・税一体改革担当大臣  
        内閣府特命担当大臣(経済財政政策) TPP担当大臣  
        健康・医療戦略担当大臣
- ・幹事の辞任について
- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・景気定点観測アンケート調査結果について

#### 10月幹事会 2015.10.16

- ・講演：「TPP協定交渉の結果と発効に向けた今後の道筋について」  
     / 鶴岡公二 内閣官房 TPP政府対策本部 首席交渉官
- ・入会者の選考について
- ・役員等候補選考委員会の設置について
- ・消費者契約法見直しに関する意見書(案)について
- ・「女性が輝く先進企業表彰」推薦企業について

#### 11月幹事会 2015.11.20

- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・2015年度 中間決算報告(含む監査)について
- ・「企業と投資家の対話促進に関する意見書」(案)について
- ・「少子化対策に関する意見書」(案)について
- ・「金融グループを巡る制度のあり方に関するワーキング・グループに対する意見」(案)について
- ・「経済・財政再生計画への意見」(案)について
- ・「第41回 日本・ASEAN経営者会議」について

- ・「第 27 回 民間経済団体国際会議」について

#### 12 月幹事会 2015.12.18

- ・役員等候補選考委員会の結果について
- ・講演：「我が国企業の海外展開と TPP」  
/ 長島忠之 独立行政法人日本貿易振興機構 参与
- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・2016 年 年頭見解（案）について
- ・「ダイバーシティと働き方に関するアンケート調査結果」（案）について
- ・アフリカ委員会 米国ミッション 報告書（案）について
- ・産業懇談会の活動報告とご参加のお願い
- ・2015 年 12 月（第 115 回）景気定点観測アンケート調査結果について

#### 2016 年 1 月幹事会 2016. 1 .15

- ・入会者の選考について
- ・行政・制度改革委員会 提言（案）について
- ・社会保障改革委員会 提言（案）について
- ・「女性が輝く先進企業表彰結果」について

#### 2 月幹事会 2016. 2 .19

- ・幹事の辞任について
- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・震災復興委員会 提言（案）について
- ・郵政民営化法施行令の一部を改正する政令案に対する意見（案）について
- ・米州委員会 米国ミッション報告書（案）について
- ・中国委員会 中国ミッション報告書（案）について
- ・『世界経済フォーラム「グローバル競争力調査 2016-2017」』および  
『IMD「世界競争力年鑑 2016」経営者意見調査』への協力依頼について

#### 3 月幹事会 2016. 3 .18

- ・幹事の辞任について
- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・役員等候補選考委員会の結果について
- ・2015 年度決算見込みと 2016 年度予算（案）について
- ・会費規程の変更について
- ・70 周年記念事業について

- ・地方創生委員会 提言（案）について
- ・「新卒・既卒ワンプール／通年採用」の定着に向けた意見（案）について
- ・観光立国委員会 中間提言（案）について
- ・2016 年度事業計画（案）について
- ・2016 年 3 月（第 116 回）景気定点観測アンケート調査結果について
- ・代表幹事特別顧問の委嘱について
- ・政策提言要覧 2015 の作成について

#### （４）幹事懇談会

幹事懇談会は、代表幹事、副代表幹事、幹事、監査役、終身幹事、顧問により構成され、相互交流、情報交換の場として、毎月第 1 週目の金曜日（1 月、5 月、8 月は休会）に昼食懇談会の形式で開催している。

本年度は、新任の副代表幹事、幹事から企業経営や業界の動向などを中心とした話題提供と意見交換を行った。加えて、桜井正光 終身幹事より IPCC（国連気候変動に関する政府間パネル）第 5 次評価報告書の発表を受けて、低炭素社会構築における産業界の役割と題したトピックなテーマでの問題提起と意見交換も実施した。

#### （５）正副代表幹事会

代表幹事、副代表幹事、専務理事ならびに常務理事によって構成される正副代表幹事会は、原則として幹事会開催週の月曜日およびその二週間前の月曜日に開催した。

正副代表幹事会は、定款第 50 条および正副代表幹事会運営規則第 1 条に基づき、幹事会審議事項の事前審議ならびに会務運営に関する事項について協議を行った。また、その時々々の政治・経済情勢に関し、外部より講師を招き、講演・意見交換を行った。各回の議題は以下の通りである。

##### 第 1 回正副代表幹事会 2015. 4 .13

- ・幹事の辞任について
- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・役員等候補選考委員会の結果について
- ・金融問題委員会 提言（案）について
- ・国家戦略特区 PT 意見（案）について
- ・医療・福祉改革委員会 報告書（案）について
- ・欧州・ロシア委員会 報告書（案）について
- ・知日派・親日派拡大 PT 報告書（案）について

第2回正副代表幹事会 2015.5.11

- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・法人賛助会費について
- ・2014年度委員会運営の評価実施について
- ・2014年度行政・制度改革委員会 報告書(案)について
- ・2014年度アフリカ委員会 ミッション報告書(案)について
- ・2015年度幹事個別訪問の実施について
- ・その他

第3回正副代表幹事会 2015.6.15

- ・経済情勢調査会との合同会合 意見交換
- ・幹事の辞任について
- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・独立役員(社外取締役・社外監査役)・経営諮問委員等候補者の登録・紹介制度について
- ・2015年度 夏季セミナーについて
- ・東京経済研究センター(TCER)研究活動助成のお願い
- ・留学生支援企業協力推進協会の活動について

第4回正副代表幹事会 2015.7.6

- ・講演・意見交換:「延長国会の展望と安倍政権の行方」  
/ 芹川洋一 日本経済新聞社 専務執行役員・論説委員長
- ・2015年度夏季セミナー アピール(案)について
- ・2014年度委員会運営評価について

第5回正副代表幹事会 2015.7.21

- ・幹事の辞任について
- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・役員等候補選考委員会の設置について
- ・第41回日本・ASEAN経営者会議(AJBM)の開催について
- ・「日本・ASEAN経営者会議(AJBM)の40年」について
- ・世界経済史会議(WEHC2015)への寄附金協力 御礼について

第6回正副代表幹事会 2015.8.31

- ・講演:「70年談話と秋政局」

/ 小田 尚 読売新聞東京本社 専務取締役 論説担当

- ・本会が今秋発信すべき政策課題について
- ・2016年度 夏季セミナーの日程と開催地について

第7回正副代表幹事会 2015.9.14

- ・経済情勢調査会との合同会合 意見交換
- ・幹事の辞任について
- ・入会者の選考、退会者の確認について

第8回正副代表幹事会 2015.9.28

- ・「女性が輝く先進企業表彰」推薦企業(案)について

第9回正副代表幹事会 2015.10.13

- ・入会者の選考について
- ・役員等候補選考委員会の設置について
- ・消費者契約法見直しに関する意見書(案)について
- ・その他

第10回正副代表幹事会 2015.11.2

- ・「金融グループを巡る制度のあり方に関するワーキング・グループに対する意見」(案)について
- ・国際経済情勢に関する意見交換

第11回正副代表幹事会 2015.11.16

- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・「少子化対策に関する意見書」(案)について
- ・「企業と投資家の対話促進に関する意見書」(案)について
- ・「経済・財政再生計画への意見」(案)について
- ・「第41回 日本・ASEAN 経営者会議について
- ・「第27回 民間経済団体国際会議」について

第12回正副代表幹事会 2015.11.30

- ・経済情勢調査会との合同会合 意見交換
- ・「経済・財政再生計画への意見」(案)について

第 13 回正副代表幹事会 2015.12.14

- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・2016 年 年頭見解（案）について
- ・「ダイバーシティと働き方に関するアンケート調査結果」（案）について
- ・アフリカ委員会 米国ミッション 報告書（案）について
- ・その他

第 14 回正副代表幹事会 2016. 1 .12

- ・入会者の選考について
- ・行政・制度改革委員会 提言（案）について
- ・社会保障改革委員会 提言（案）について
- ・「女性が輝く先進企業表彰結果」について
- ・その他

第 15 回正副代表幹事会 2016. 2 . 1

- ・米州委員会 米国ミッション 報告書（案）について

第 16 回正副代表幹事会 2016. 2 .15

- ・経済情勢調査会との合同会合 意見交換
- ・幹事の辞任について
- ・入会者の選考、退会者の確認について
- ・震災復興委員会 提言（案）について
- ・郵政民営化法施行令の一部を改正する政令案に対する意見（案）について
- ・中国ミッション 報告書（案）について
- ・『世界経済フォーラム「グローバル競争力調査 2016-2017」』および『IMD「世界競争力年鑑 2016」経営者意見調査』への協力依頼について
- ・国際会議・海外調査ミッションの費用分担に関する内規について

第 17 回正副代表幹事会 2016. 2 .29

- ・講演：「参議院選挙など政局展望」  
／ 小田 尚 読売新聞グループ本社 取締役論説主幹
- ・2016 年度の委員会活動について

第 18 回正副代表幹事会 2016. 3 .14

- ・幹事の辞任について
- ・入会者の選考、退会者の確認について

- ・役員等候補選考委員会の結果について
- ・2015年度決算見込みと2016年度予算(案)について
- ・会費規程の変更について
- ・70周年記念事業について
- ・地方創生委員会 提言(案)について
- ・「新卒・既卒ワンプール/通年採用」の定着に向けた意見(案)について
- ・観光立国委員会 中間提言(案)について
- ・2016年度事業計画(案)について
- ・代表幹事特別顧問の委嘱について
- ・政策提言要覧の作成について

第19回正副代表幹事会 2016.3.28

- ・講演：「経済財政諮問会議での議論を中心とした主要政策課題について」  
/ 新浪 剛史 副代表幹事
- ・正規・非正規雇用問題に関する 提言(案)について

#### スタートアップ・ミーティング

5月23日～24日に長野県軽井沢町にて、2015年度スタートアップ・ミーティングを開催した。会議では、第1セッション「本年度の活動の方向性について(経営分野の課題を中心に)」、第2セッション「改革推進プラットフォームと政策委員会の連携について」をテーマに、正副代表幹事および主要委員会委員長による集中的な討議を行い、2015年度における各委員会の活動方針や検討テーマを議論するとともに、問題意識の共有を図った。

#### 1 - Day Meeting

2月13日に、2015年度1 - Day Meetingを開催した。正副代表幹事を中心として、2016年度副代表幹事候補推薦者、主要政策委員会・PTの委員長が参加し、2016年度の活動方針や主要検討課題を議論するとともに、秋頃の取りまとめを目指す「Japan 2.0」への問題意識やスケジュールなどの共有を図った。

#### (6) 終身幹事会

終身幹事会は、代表幹事、副代表幹事が本会の活動全般について終身幹事より意見を求める場として設置している。

小林喜光代表幹事が代表幹事に就任して最初となる今回は、2016年4月5日にクラブ関東で開催する。当日は、就任時から掲げている活動の基本方針「Japan V 2.0」や経済社会が抱える喫緊の課題などについて意見交換を行う予定である。

## (7) 財務委員会

財務委員会（松尾憲治委員長）は代表幹事からの諮問に応じ、予算、決算の審議、財政基盤の維持、財務に関する課題の審議など健全な財務運営に向けた検討を行っている。

10月19日に開催した第1回委員会で、外部監査法人審査会で承認された2015年度中間決算(案)について審議した。中間収支計算書において、事業活動収入9億1,679万円、事業活動支出5億207万円、中間貸借対照表では資産合計額31億1,615万円となった。また「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」第8期活動についても結果報告があった。

3月7日に開催した第2回委員会では、1月末時点の状況を踏まえ2015年（平成27年）度決算見込み、2016年（平成28年）度収支予算(案)ならびに会費規程の一部変更について審議した。決算見込みでは、収支計算書における事業活動収入が9億7,184万円、事業活動支出は10億3,073万円になると見込んだ。正味財産増減計算書における公益目的事業比率は68%で、収支相償や遊休財産額の保有制限も基準を満たす見通しである。

2016年度予算(案)は、収支計算書において、事業活動収入9億6,127万円、事業活動支出11億7,091万円、事業活動収支マイナス2億964万円とし、投資活動収支を加えた次期繰越収支差額は4,839万円となった。2016年度は本会が創立70周年を迎え節目の一年となることから、70周年記念事業として70年史編纂および記念式典を企画し、その財源に公益目的事業資産などを充てることを計画している。支出面では、多少の余裕を見込み当期収支差額でマイナス1億6,156万円を計上するが、経費節減に努め収支均衡となるように取り組んでいく。公益認定基準である公益目的事業比率は68%であり、その他の基準も条件を満たすことを説明、審議した結果、原案を3月の正副代表幹事会、幹事会、理事会に提案することを確認した。

次の議事である会費規程の一部変更では、現行では理事会承認となっている個人からの寄附金の受入手続を、本会会員からの個人寄附金50万円以下については、経理統括責任者である専務理事決裁をもって受領できるよう見直す内容を提案した。審議の結果、こちらも原案を3月の正副代表幹事会、幹事会、理事会に提案し、4月通常総会で諮ることを確認した。最後に「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」第9期活動について報告があった。

## ( 8 ) 全国経済同友会代表幹事円卓会議

全国経済同友会代表幹事円卓会議では、全国 44 地域に所在する各地経済同友会の代表幹事が毎年一度、一堂に会して、わが国の経済社会が直面する様々な課題や時宜に応じた共通テーマに関して討議・意見交換を行い、相互の意思疎通や課題共有を図っている。併せて、共同事業である「全国経済同友会セミナー」や「全国経済同友会地方行財政改革推進会議（略称：地方行財政全国会議）」などの開催・運営に関する重要事項を討議し、全国組織としての連携強化に努めている。

本年度は福岡県福岡市にて開催し、全国 44 経済同友会から代表幹事 67 名（代理出席を含む）、事務局長他 55 名の計 132 名が出席した。

会議では、全国経済同友会セミナーについて、第 28 回（2015 年 4 月石川県金沢市）の決算案ならびに第 29 回（2016 年 4 月岡山県岡山市）の企画案に加え、第 33 回（2020 年高知県高知市）の開催が承認された。続いて、地方行財政全国会議について、これまでの活動報告と今度の予定に関する説明が行われた。特に、震災復興部会については、震災発生から 5 年を迎える 2016 年 3 月 11 日に全国経済同友会東日本大震災追悼シンポジウムを開催することとし、それをもって活動の区切りとすることが決議された。また、「各地経済同友会による地方創生の取り組みについて」と題して、それぞれの経済同友会における地域経済活性化に向けた活動に関する報告が行われた。来賓講演には、石原進 九州観光推進機構会長を招き、「九州観光機構の取り組みと課題」と題する講演を伺うとともに、参加者との意見交換を実施した。

なお、会議開催当日の午前中には、産業視察を開催し、福岡県北九州市の安川電機ロボット村を訪れて産業用ロボット製造・開発の現場視察を行った他、重要文化財・近代化産業遺産 西日本工業倶楽部を見学した。